令和６年度

シラバス（普通教科）

～ ２ 年 ～

鹿児島県立伊佐農林高等学校

２年　普通教科

国　　語・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
地歴公民・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ3
数　　学・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
理　　科・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８
保健体育・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
外 国 語・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ14

（新課程用）

国語 現代の国語	単位数	2単位
	学科・学年	農林技術科　生活情報科・第2学年

1　学習到達目標等

学習の到達目標	◎言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 ○知・技･･･実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 ○思・判・表･･･考える力，共感する力，想像する力，伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 ○学びに向かう力･･･言葉により自分を向上させ,他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書・副教材等	教科書　「新編現代の国語」東京書籍 補助教材「漢字検定5級～2級＋短文書写 実践文字力 トリプルチェック」

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	単元名 学習内容	月	学習のねらい 評価規準	備考 (学習活動の特記事項他)	考査
学期	自己を見つめる	4	・筆者独自の考え方を読み取り，人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・筆者の体験について書かれた文章を読み，自分に当てはめて考える。	・「思い込み」や「勘違い」の背景を探る。 ・スピーチ ・意見文作成 →推敲 などの言語活動を適宜行う。	中間考査
	他者に出会う	5	・情報と想像力の関係を論じた文章を読み，意見の根拠を的確に理解し筆者の主張をつかむ。 ・日本と西洋の文化の比較を通して，日本文化の特質について理解を深める。		期末考査
	詩歌を楽しもう	6 7	・詩歌や俳句を読み味わい，自分でも表現する。	俳句の作成	
	【課題・提出物等】　休業中の課題，授業ノート，補助教材，テスト訂正，ワークシートなど				
	【第1学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
二学期	言葉と生活1	9	・目的や相手に合ったわかりやすい説明について考える。 ・複数の文章を読み比べ，自分の考えを深める。	・説明とロールプレイ ・読み比べ などの言語活動を適宜行う。	
	視野を広げる	10	・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み,提示された新しい視点について理解する。 ・色について論じた文章を，具体例の役割を押さえながら読み，筆者の価値観と主張をつかむ。		中間考査
	社会と関わる	11	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から，仕事に対する思いを読み取る。 ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに		期末考査

		12	触れ，働くということについて考える。 ・海での漁の様子を伝える文章を読み，自然の中での労働について理解を深める。		
	【課題・提出物等】　休業中の課題，授業ノート，補助教材，テスト訂正，ワークシートなど				
	【２学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
三学期	世界とつながる 未来に目を向ける	1 2 3	・抽象的な題材について論じた文章を読み，展開を考え，筆者の価値観を理解する。 ・出来事の順序に着目しながら，戦時下の人々の状況と作者の思いを読み取る。 ・人間の心・意識について考察する文章を読み，人間への認識を深める。 ・「自立」の在り方について考察した文章を読み，自分の考えを持つ。	・話し合い ・文章作成 などの言語活動を適宜行う。	学年末考査
	【課題・提出物等】　休業中の課題，授業ノート，補助教材，テスト訂正，ワークシートなど				
	【３学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
【年間の学習状況からの評価方法】 ※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。					

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができたか。	定期考査 発問 ノート 課題
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	定期考査 発問 ノート ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち，言葉を通して他者や社会に関わろうと態度を持つことができたか。	授業への取り組み 発問
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B 「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C		

3　担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・授業中の発問に対してしっかり考えましょう。 ・ノートには板書事項だけでなく，自分で考えたことや疑問に思ったことも記入しましょう。 ・予習をして授業に臨み，授業後は復習をしましょう。(教科書を読む，わからない語句の意味を調べる，など) ・「なぜ」と思ったことは，質問したり，調べたりしましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・教材を忘れないこと。 ・提出物はしっかりと取り組み，期限を守って提出すること。 ・説明を聞く，学習内容を書きとるなど学習活動の切り替えを行うこと。 ・答えを待つのではなく，自分なりに考えること。
その他	

（新課程用）

歴史総合	単位数	2　単位
	学科・学年	農林技術科・生活情報科　第２学年

1　学習到達目標等

学習の到達目標	１．近現代史を中心とする世界の歴史を，日本の歴史と関連づけながら理解を深める。 ２．人類の課題を政治・経済・社会・文化・生活などの観点から多角的に考察することによって歴史的思考力を養う。 ３．国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
使用教科書・副教材等	実教出版「歴史総合」 帝国書院「地歴高等地図」 演習ノート

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	単元名 学習内容	月	学習のねらい 評価規準	備考 (学習活動の特記事項他)	考査
一学期	歴史の扉 １．江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ２．幕政の改革と東アジア世界 ３．イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ４．フランス革命とウィーン体制 ５．江戸幕府の滅亡 ６．イギリスとフランスの繁栄 ７．明治政府の諸改革 ８．自由民権運動と大日本帝国憲法	4 5 6 7	・江戸幕府が対外関係の場とした四つの口について考える。 ・江戸幕府が国内と国外に抱えた問題点（内患外憂）について考える。 ・イギリスで産業革命が起きた背景や社会の変化に着目させる。 ・フランス革命が起きた背景や影響について着目させる。 ・幕末の薩摩藩・長州藩の動き，大政奉還と王政復古について考える。 ・明治新政府が中央集権や富国強兵を勧めるためにおこなった政策に着目させる。 ・明治政府の方針と自由民権運動との関係，政党の結成について考える。		中間考査 期末考査
	【課題・提出物等】　春季休業中の課題，演習ノートなど				
	【第１学期の評価方法】定期考査の成績，提出物の内容，授業への参加態度・意欲 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
二学期	９．日清戦争 10．日露戦争 11．日本の産業革命 12．第一次世界大戦 13．ロシア革命とソ連 14．米騒動と大正デモクラシー 15．ヴェルサイユ体制とワシントン体制	9 10 11	・日本の 1880 年代から 90 年代にかけての朝鮮半島進出について考える。 ・日露戦争と日本の韓国侵略について考える。 ・日本の産業の発展，都市と農村の社会問題について考える。 ・第一次世界大戦の前提となる国際関係について，多面的・多角的に考察させる。 ・ロシア革命の原因や経過について考える。 ・第一次世界大戦が日本に与えた影響について考える。 ・第一次世界大戦によって国際秩序がどのように変化したのかまた原因は何かを多面的に考察させる。		中間考査 期末考査

	16．世界恐慌と各国の対応 17．ファシズムの時代	12	・世界恐慌がアメリカで始まった理由，世界への影響について考える。 ・イタリアやドイツでファシズムが台頭した理由を考える。		
	【課題・提出物等】　夏季休業中の課題，演習ノートなど				
	【２学期の評価方法】定期考査の成績，提出物の内容，授業への参加態度・意欲 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
三学期	18．満州事変と軍部の対立 19．日中戦争 20．第二次世界大戦 21．国際連合の成立と冷戦 22．日本国憲法 23．朝鮮戦争と日本	1 2 3	・満洲事変と「満洲国」の成立，日本の孤立化について考える。 ・中国との戦争は，なぜ長期化したのか考える。 ・ヨーロッパでの戦いと，アジアの日中の戦争はどのようにしてむすびついたのか考える。 ・米ソの対立から冷戦がはじまったことや対立の理由を多面的に考察させる。 ・ＧＨＱの政策と日本国憲法の制定について考える。 ・朝鮮戦争など冷戦が対日占領政策に与えた影響を考える。		学年末考査
	【課題・提出物等】　冬季休業中の課題，演習ノートなど				
	【三学期の評価方法】定期考査の成績，提出物の内容，授業への参加態度・意欲 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
【年間の学習状況からの評価方法】 ※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。					

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・　世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について，基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けているか。 ・　歴史的事象を追求する方法を身につけることができたか。	・　定期考査
思考・判断・表現	・　歴史的事象から課題を見出し，世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野にたって多面的・多角的に考察できるか。 ・　諸資料を収集し，有用な情報を選択して活用できるか。 ・　国際社会の変化を踏まえ，公正に判断できるか。 ・　諸資料を活用し追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	・　定期考査 ・　課題，宿題 ・　発表 ・　ノート
主体的に学習に取り組む態度	・　歴史的事象に対する関心と課題意識を高め，授業に意欲的に取り組んでいるか。 ・　国際社会に主体的に生きる社会の一員としての責任を果たそうとする姿勢があるか。	・　授業への参加の仕方や態度 ・　課題，宿題 ・　ノート ・　発表
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B 「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C		

3　担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・　日々の授業を大切にし，ノートをしっかりとる。 ・　ノートには板書事項だけでなく，自分で考えたこと，感じたこと，疑問に思ったこともメモしておく。 ・　毎時間最低 10 分間の復習を行う。 ・　「なぜ」と思ったことは，質問したり，調べたりする。

授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・　ノートは毎授業しっかりとること。毎回その都度提出すること。 ・　教科書，ノートには記名し，授業が始まる前には机上に準備しておく。 ・　ノート，課題などの提出物は，指定された期日までに指定された方法で提出する。
その他	現在の世界の成り立ちについて学習するのが「歴史総合」です。新聞やテレビで取り上げられる事件も，元を辿っていけば歴史のとある出来事に由来することが多いです。過去から現在まで，世界の成り立ちを確認し，現在そして未来について考察できるようにしていきましょう。

（新課程用）

数学Ⅰ	単　位　数	２単位
	学科・学年	農林技術科・生活情報科　２学年

１　学習到達目標等

学習の到達目標	１　基礎・基本的な計算問題を繰り返し練習することによって，基礎的な計算の習得と技能の習熟を図る。 ２　図形やグラフを学習することによって，事象を数学的に考察する能力を培う。 ３　多くの練習問題を解くことによって，発展的な考え方ができる。
使用教科書・副教材等	高校数学Ⅰ（実教出版） 高校数学Ⅰ専用スタディノート新課程版（実教出版）

２　学習計画及び評価方法等

（１）学習計画等

学期	学　習　内　容	月	学 習 の ね ら い	備　考 （学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など）	考査
一学期	３章　三角比 １節　三角比 ①三角形 ②三角比 ③三角比の利用 ④三角比の相互関係 ２節　三角比の応用 ①三角比の拡張 ②三角形の面積	4 5 6 7	三角形の基本的な性質，三平方の定理を理解し，それに関連した問題が解けるようになる。 直角三角形について２辺の比の関係（三角比）を理解する。それを利用して様々な問題が解けるようになる。三角比の相互関係を理解する。 鈍角の三角比の定義を座標平面上で行うことを理解する。 三角比を利用して三角形の面積を求めることができるようになる。	三角比の定義はしっかり覚える。 30°，45°，60°の三角比は確実に覚える。 0°，90°，120°，135°，150°，180°の三角比の値を確実に覚える。	中間考査 期末考査
	【課題・提出物等】１．基本計算プリント　２．問題集スタディノート　３．春休み課題 ４．小テスト　５．定期考査				
	【第１学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
二学期	③正弦定理 ④余弦定理 ⑤正弦定理と余弦定理の利用 ４章　集合と論証 １節　集合と論証 ①集合と要素 ②命題 ③いろいろな証明法	7 9 10 11 12	三角形の３つの角と３つの辺との間にある関係，正弦定理を理解する。 三角形の１つの角と３つの辺との間にある関係，余弦定理を理解する。 正弦定理や余弦定理を利用して，いろいろな距離を求めることができる。 いろいろな集合と要素について表し方や用語を学習する。 あることがらが正しいかどうかを判断するのに必要な考え方や用語について学習する。 命題の必要条件，十分条件を理解する。 対偶を利用した証明法，背理法を利用した証明法を理解する。	三角比の面積，正弦定理，余弦定理を確実に覚える。 集合の記号や用語を理解する。 対偶を利用した証明，背理法を利用した証明を教科書の例題で理解する。	中間考査 期末考査
	【課題・提出物等】１．基本計算プリント　２．問題集スタディノート　３．夏休み課題 ４．小テスト　５．定期考査				
	【２学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				

三学期	5章　データの分析 1節　データの分析 ①統計とグラフ ②度数分布表とヒストグラム ③代表値 ④データの散らばり ⑤外れ値 ⑥相関関係 ⑦仮説検定の考え	1 2 3	データの種類にふさわしいグラフを描く。 目的に応じていろいろなデータを適切に整理できるようになる。 相対度数が理解できる。 データ全体の特徴を1つの値で表すことができる。 データの散らばりや2つのデータの相互関係を調べることができる。	棒グラフ，折れ線グラフ，円グラフ，帯グラフを理解する。 度数分布表，ヒストグラム，相対度数が理解できる。 相対度数，平均値，中央値，最頻値，外れ値，分散，標準偏差，相関係数が理解できる。	学年末考査
	【課題・提出物等】1．基本計算プリント　2．問題集スタディノート　3．冬休み課題 4．小テスト　5．定期考査				
	【三学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				

【年間の学習状況からの評価方法】
※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に5段階の評定にまとめる。

（2）評価の観点，内容及び評価方法
学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・授業へ出席し，真剣に説明を聞き，板書内容をきちんと記録することができたか。 ・課題や提出物を期限内に提出できたか。	・授業の出席率 ・授業での発言や板書や学習態度 ・定期考査
思考・判断・表現	・定義や例題がきちんと理解できたか。 ・問題を解くとき，適切な公式が活用できたか。	・定期考査 ・提出物 ・課題問題
主体的に学習に取り組む態度	・授業中，学習内容の説明を聞き，それに関する発言や質問を積極的にすることができたか。 ・学習内容の定着のため，復習を中心に充実した家庭学習を行ったか。	・授業態度 ・プリントや問題集のとりくみ状況 ・提出物の提出状況

【観点別学習状況の評価】
「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B
「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C

3　担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	授業では，単元の課題に対して，周りの人と一緒に考え，理解する活動を行います。理解できた内容を自分のものとして定着させるために，問題集やプリントでの反復練習が必要になります。授業→家庭学習(復習)→授業…の習慣を確立することが重要です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・教科書，問題集，プリント等授業に必要な物を準備すること。 ・板書事項や学習内容の要点をしっかり記録すること。 ・提出物は，指定された日に確実に提出すること。
その他	まちがいや分からないことをそのままにしていると，ますます理解が難しくなっていきます。その都度，先生や友達に質問したり，教えあったりしていくことが大切です。ねばり強く，コツコツと，あきらめずに基礎学力の向上に努力してください。その努力が，上級学年での学習や進路実現（就職･進学）に必ず役立つはずです。

（新課程用）

理科 （生物基礎）	単　位　数	２単位
	学科・学年	農林技術科・生活情報科・第２学年

１　学習到達目標等

学習の到達目標	１．基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を身につける。 ２．日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象への関心を高める。 ３．生物学的に探究する能力と態度を身につける。
使用教科書・副教材等	・教科書　　高校生物基礎（実教出版） ・副教材　　高校生物基礎　カラーノート新課程版（実教出版）

２　学習計画及び評価方法等

（１）学習計画等

学期	単元名 学習内容	月	学習のねらい 評価規準	備考 （学習活動の特記事項，他）	考査
一学期	第１章　生物の特徴 １節　生物の共通性と多様性 ２節　細胞とエネルギー 第２章　遺伝子とその働き １節　遺伝情報とDNA	4 5 6 7	・生物は多様でありながら，共通性があることを理解させる。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたことを理解させる。 ・生物に共通する特徴のうち，全ての生物が細胞から成り立っていることを理解させる。 ・生物の体内では常に物質の合成や分解の化学反応が行われていることを考察させる。 ・DNAの構造については，互いに相補的な鎖からなる二重らせん構造をしていること，それらは四つの構成要素からなることを理解させる。	細胞の観察 （真核細胞と原核細胞の違い） 酵素反応実験	中間考査 期末考査
	【課題・提出物等】・小テスト　・授業ノート　・GW課題　・実験レポート等				
	【評価方法】学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
二学期	３節　遺伝情報とタンパク質の合成 第３章　ヒトの体の調節 １節　体内環境 ２節　体内環境の維持のしくみ ３節　免疫	9 10 11 12	・生体はさまざまなタンパク質からなることに触れ，それらのタンパク質は遺伝子によりアミノ酸配列が決定されることで合成されることを理解させる。 ・体液を調節することで，体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解させる。 ・体内環境の調節に神経系と内分泌系が関わっていることを学び，ヒトの体液濃度が一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。	DNA抽出の実験 体細胞分裂の観察 ブタの腎臓の観察 ニワトリの脳の観察	中間考査 期末考査
	【課題・提出物等】・夏休み課題　・小テスト　・授業ノート　・実験レポート等				
	【評価方法】学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				

三学期	第４章　生物の多様性と生態系 １節　生態系とその成り立ち ２節　植生とバイオーム ３節　生態系と生物の多様性 ４節　生態系のバランスと保全	1 2 3	・生物は環境からの影響を受けながら存在し，生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 ・植物の生活と環境との間にどのような関わりがあるか把握させる。 ・気温と降水量の違いによって，地球上には様々なバイオームが成り立つことを理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・環境保全に寄与する態度を育む。	林園の樹木の観察	学年末考査
	【課題・提出物等】・冬休み課題　・小テスト　・授業ノート　・実験レポート等				
	【評価方法】学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
【年間の学習状況からの評価方法】各学期末における観点別評価を総合して学年末に５段階の評定にまとめる。					

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技能」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価する。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い，実験・観察の技能を習得する。 ・科学的に探究する方法を身につけ，それらの過程や結果及びそこから導き出した考えを的確に表現できる。 ・生物や生物現象について，それらの基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を身につけている。 ・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と，豊かな科学的素養を身につけている。	・発問評価 ・ノート提出 ・定期考査 ・小テスト ・提出課題
思考・判断・表現	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い，自然を科学的にとらえられる。 ・生物現象について探究する場合に，それらを個々のレベルで分析すると同時に，全体を総合的にとらえられる。	・ノート提出 ・定期考査 ・小テスト ・提出課題
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち，基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに，科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・提出課題
【観点別学習状況の評価】	「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B 「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C	

３　担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・教科書やワークの内容について，分からない言葉を質問しましょう。インターネット等で調べるのも良いです。 ・日常生活の中の生物的な事象について，興味を持って観察・分析・探求する視点を持ちましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・農林技術科は植物や生物の仕組みについて，生活情報科は人間の生活や栄養について，専門教科と関連させて理解しましょう。 ・進路や資格を含めた幅広い一般常識が身につきます。しっかり集中して学習しましょう。
その他	・「生物基礎」を通して，「勉強のやりかた」の勉強をしていきましょう。実験できる内容は限られていますが，校内の生物や専門科目とも関わりが深い科目です。しっかり取り組みましょう。

（新課程用）

体育	単位数	3単位
	学科・学年	農林技術科・生活情報科　第2学年

1　学習到達目標等

学習の到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して，運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに，身体の調子を整え，体力の向上を図り，公正，協力，責任などの態度を育て，生涯を通じて計画的に運動ができる資質や能力を習得する。
使用教科書・副教材等	現代高等保健体育（大修館）・アクティブスポーツ（大修館）

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	単元名 学習内容	月	学習のねらい 評価規準	備考 (学習活動の特記事項他)	考査
一学期	体つくり運動 体ほぐしの運動 選択Ⅰ(球技) バレーボール バドミントン ソフトボール 体育理論	4 5 6 7	・手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき，仲間と自主的に関わり合うこと。 ・バレーボールとバドミントンでは，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは，状況に応じたバット操作と走塁での攻撃，安定したボール操作，状況に応じた守備などによって攻防を展開できる。 1　技能と体力の関係やそれらを高めるときに気をつけるべき点を挙げて説明できる。 2　技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたと用具の改良やメディアの発達などによる技術・戦術・ルールの変化を説明できる。		
	【課題・提出物等】　特になし				
	【第1学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
二学期	陸上競技 体つくり運動 実生活に生かす運動の計画 選択Ⅱ バスケットボール ソフトボール テニス 体育理論	9 10 11 12	・短距離走・リレーでは，中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること，長距離走では，自己に適したペースを維持して走ること，ハードル走では，スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 ・ねらいに応じて，健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むこと。 ・バスケットボールでは，安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作，連携した守備などによって攻防を展開できる。 ・テニスでは，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 3　技能がどのようなステップを経て上		

			達するかと練習によって技能が上達すると，どのような特徴がみられるかを挙げて説明できる。		
	【課題・提出物等】　特になし				
	【２学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
三学期	選択Ⅲ サッカー バドミントン テニス 体育理論	1 2 3	・サッカーでは，安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携したうごきによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・バドミントンとテニスでは，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ４　体の動きはどのようなしくみで開始され，持続していくのかとよい動きを支える調整力について例を挙げて説明できる。		
	【課題・提出物等】　特になし				
	【三学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
【年間の学習状況からの評価方法】 ※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。					

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	･運動の多様性や体力の必要性について理解しているか。 ･運動の技能が身に付いているか。	・ワークシート ・実技テスト
思考・判断・表現	･課題を発見し，解決に向けて思考・判断しているか。 ･自己や仲間の考えたことを他者に伝えられているか。	・話し合い活動 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	･準備,片付け等仲間と協力して行っているか。 ･健康・安全を確保しているか。	・授業態度
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの･････････A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの･････B 「努力を要する」状況と判断されるもの･････････C		

3　担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	･基本動作をしっかり習得することが,高度な技術へ発展していきます。基本を嫌がらず，正しい構え，正しい動き，正しい操作を心がけましょう。 ･毎時間，自己・チームの課題を振り返り，次時の課題解決につなげるようにしましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・忘れ物をしない。（授業を受けられません） ・遅刻をしない。（チーム編成等周りに迷惑がかかります） ・自分勝手な行動をしない。（けがや事故につながります）
その他	

保　　健	単　位　数	１単位
	学科・学年	農林技術科・生活情報科　第２学年

1　学習到達目標等

学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め，生涯を通じて自らの健康を適切に管理し，改善していくための資質や能力を育てる。
使用教科書・副教材等	現代保健体育（大修館　保体　７０１） 現代高等保健体育ノート（大修館　保体　７０１）

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	単元名 学習内容	月	学習のねらい 評価規準	備考 (学習活動の特記事項他)	考査
一学期	オリエンテーション ライフステージと健康	4	・ライフステージと健康の関連や，社会からの支援について例を挙げて説明できる。		
	思春期と健康	5	・思春期における体の変化を男女に分け，心の発達にかかわる問題について例を挙げて説明できる。		
	性意識と性行動の選択		・性意識の男女差や性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例を挙げて説明できる。		
	妊娠・出産と健康	6	・妊娠・出産の健康課題やその時期に活用できる母子保健サービスの例を挙げて説明できる。		
	避妊法と人工妊娠中絶		・家族計画の意義と適切な避妊法や人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	教科書	
	結婚生活と健康	7	・心身の発達と健康生活の関係や結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を挙げて説明できる。	76 頁～91 頁	
	中高年期と健康		・加齢にともなう心身の変化や高齢社会に必要な社会的な取組について例を挙げて説明できる。		
	【課題・提出物等】　現代高等保健体育ノート（大修館　保体　７０１）				
	【第１学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 ※単元ごとに確認テストを行う。（知識・技能，思考力・判断力・表現力） ※授業における態度や授業ノートの取り組み等を評価する（知識・技能，思考力・判断力・表現力，態度）				
二学期	働くことと健康	9	・働くことの意義と健康とのかかわりと働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。		
	労働災害と健康		・労働災害の種類とその原因や労働災害を防止するために必要なことを説明できる。		
	健康的な職業生活	10	・職場がおこなう健康に関する取組や余暇を積極的にとることの意義について説明できる。		
	大気汚染と健康		・大気汚染の原因と健康への影響や地球規模の健康問題について例を挙げて説明できる。		
	水質汚濁，土壌汚染と健康		・水質汚濁，土壌汚染の原因と健康影響やそれらにかかわる複合的な環境汚染の発生について説明できる。		
	環境と健康にかかわる対策	11	・環境汚染による健康被害予防法や産業廃棄物の処理について説明できる		
	ごみの処理と上下水道の整備		・ごみ処理の現状やその課題と上下水道のしくみと健康にかかわる課題について説明できる。	教科書	

	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	12	・食品の安全性と健康とのかかわりや今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割と個人の役割について説明できる。	92 頁～115 頁	
	【課題・提出物等】　現代高等保健体育ノート（大修館　保体　７０１）				
	【２学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 ※単元ごとに確認テストを行う。（知識・技能，思考力・判断力・表現力） ※授業における態度や授業ノートの取り組み等を評価する（知識・技能，思考力・判断力・表現力，態度）				
三学期	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	1 2 3	・保健行政の役割や保健サービス活用の例について例を挙げて説明できる。 ・わが国における医療保険のしくみやさまざまな医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい使用法や安全性を守る取組について例を挙げて説明できる。 ・国際機関・民間機関などの保健活動や行政機関による社会的対策について例を挙げて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりや主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	教科書 116～127 頁	
	【課題・提出物等】　現代高等保健体育ノート（大修館　保体　７０１）				
	【三学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 ※単元ごとに確認テストを行う。（知識・技能，思考力・判断力・表現力） ※授業における態度や授業ノートの取り組み等を評価する（知識・技能，思考力・判断力・表現力，態度）				

【年間の学習状況からの評価方法】
※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。

（２）評価の観点，内容及び評価方法
学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・個人及び社会生活における健康・安全について理解しているか。 ・健康・安全についての技能が身に付いているか。	・確認テスト ・授業ノート ・実技
思考・判断・表現	・健康についての課題を発見し，解決に向けて思考・判断しているか。 ・自己や仲間の考えを他者に伝える力があるか。	・確認テスト ・授業ノート ・話し合い活動等
主体的に学習に取り組む態度	・授業に意欲的に取り組み，ノートをとっているか。 ・期限内に提出物を出しているか。	・授業態度 ・授業ノート ・提出物

【観点別学習状況の評価】
「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B
「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C

3　担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・授業に積極的に参加し，内容を自分のことと捉え，現在だけでなく将来，健康に生活するための知識や思考力，行動力を身につけましょう。 ・日常生活やニュース等と関連づけながら学習することで，より身近に感じ，知識が身につきます。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・教科書，ノートを必ず持参する。（ノートのチェックができません） ・積極的に発言をしましょう。 ・週１回の授業です。欠席すると，確認テストへの影響等があります。
その他	

教科　外国語	単　位　数	２単位
（科目）　英語コミュニケーションⅡ	学科・学年	農林技術科２年・生活情報科２年

1　学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容を発展的に扱う科目です。中学校の復習と高校新出を織り交ぜながら，英語の基礎・基本をさらに学んでいきます。 英語を通じて，積極的に人とコミュニケーションを図ろうとするとともに，得た情報や考えなどを的確に理解したり，伝えたい情報や考えなどを適切に相手に伝えたりするための，基礎的な能力を伸ばすことを目標とします。
使用教科書・副教材等	・教科書：Vista English Communication II （三省堂） ・副教材：Prep Englishプレップイングリッシュ［改訂版］（旺文社）

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	学　習　内　容	月	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）	
Ⅰ	L5 We Are Part of Nature	4	・岩合光昭さんへのインタビューについて，理解して考えを深めることができる。	・不定詞	中間考査
	※Look and Learn2	5	・基本的な文法事項の確認。	・助動詞，動名詞，不定詞	
	Lesson6 Machu Picchu	6	・世界遺産に登録されたマチュ・ピチュ。その古い遺跡に隠された謎と魅力について知る。	・現在完了形	期末考査
	※『Prep English』 （夏休み課題）	7	・基礎的な文法事項の演習 （６２～８３ページ）	・副教材プレップイングリッシュ	
	【課題・提出物等】 春休み課題，授業ノート，授業で使ったプリント，テスト訂正ノートなど				
	【第１学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
Ⅱ	Lesson7 Artificial Intelligence	9	・私たちの身近な生活の中で活躍している AI は，人間の全ての営みに取って代われるかを考える。	・受け身	中間考査
	※Look and Learn３	10	・基本的な文法事項の確認	・現在完了形，受け身	
	Lesson8 Is There a Santa Claus?	11	・クリスマス文化を学びながら，子どもの素直さとそれにこたえようとする大人の思いを感じ取る。	・関係代名詞	期末考査
	※『Prep English』 （夏休みの課題）	12	・基礎的な文法事項の演習 （６２～８３ページ）	・副教材プレップイングリッシュ	
	【課題・提出物等】 夏休み課題，授業ノート，授業で使ったプリント，テスト訂正ノートなど				
	【２学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				

Ⅲ	Lesson9 Kid's Guernica	1 2	・芸術を通じて平和を祈り，人々の絆を結ぶプロジェクトのことを知り，平和について考える。	・現在分詞	学年末考査
	※Look and Learn 4		・基本的な文法事項の確認。	・関係代名詞，関係副詞	
	※『Prep English』 （春休みの課題）		・基礎的な文法事項の演習 （１０２～１２３ページ）	・副教材プレップイングリッシュ	
	【課題・提出物等】 冬休み課題，授業ノート，授業で使ったプリント，テスト訂正ノートなど				
	【三学期の評価方法】 ※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。				
【年間の学習状況からの評価方法】 ※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。					

※印は進度上省く場合あり。〇副教材『プレップイングリッシュ』は定期考査や長期休みの前などに使用します。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・「予習→授業→復習」のサイクルを習慣化しよう！予習をして授業に臨み，授業中は集中して参加し，授業後は早めに復習をすることです。 ・宅習で音読を毎日するのが効果的です！自然に英文が暗唱できます！ ・単語の暗記が苦手な人に朗報！声に出して発音しながら数回書く，というやり方を取り入れることです。視覚，聴覚，身体感覚が同時に起こることで効果アップです！
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・教科書やノート，単語帳，辞書を毎時間必ず準備すること。 ・授業中は私語をせず集中して参加し，ノートをしっかりとること。 ・聞く，話す，読む，書く，といった学習活動の切り替えをしっかり行うこと。 ・提出物は自分の力で最大限に取り組み，期限を守って提出すること。

（２） 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・日常的な話題についての英語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身に付けているか。 ・その背景にある文化などを理解しているか。	・定期考査 ・ワークシート ・発表の内容や仕方
思考・判断・表現	・日常的な話題について，英語を聞いたり，読んだりして，情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解しているか。 ・日常的な話題について，情報や考えなど自分の伝えたいことを英語で話したり，書いたりして表現することができているか。	・発表の内容や仕方 ・定期考査 ・ワークシート ・授業態度
主体的に学習に取り組む態度	・コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。 ・誤りを恐れずに，英語を使おうとしているか。	・学習活動への参加 ・授業態度 ・ワークシート
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B 「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C		

３　担当者からのメッセージ

日本や日本文化への世界的な関心の高まりとともに，訪日外国人の数が平成 30 年（2018 年）にはなんと 3000 万人を突破しました。日本にいながらにしても外国人と接する機会も出てくることが予想されます。ジェスチャーを交えながらなんとか英語でおもてなしの気持ちを伝えたいものです。身近な話題から文化に関する話題，現代社会の諸問題に関する話題などを扱いながら，これまで学習した事柄の定着を図りつつ，英語の基礎をさらに総合的に学習していきましょう。